

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人広域市民の暮らし支援機構

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

市民の暮らし支援:一人暮らし高齢者ネットワーク創成事業
～一人暮らしの高齢者をつなぐネットワーク:あいネット～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

1-3益々進む少子高齢化、労働格差、金融・経済、雇用人口移動のグローバル化、現在の日本社会は従前の行政依存では十分対応できない様々な問題がある。特に高齢者の介護、成年後見、葬儀、相続に関して生活用不動産の複雑な行政手続き等は、行政が関与できない面倒な個別問題である。一方 50 代、60 代の定年後の人生経験者の活用は、今後必要な中高齢者生き甲斐施策の一つであり、当法人はこの両面から社会貢献に寄与できるものとする。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 1 一人暮らし高齢者・障害者、団体・法人などに対するサポートセンターの開設(毎月無料相談会開催)
- 2 一人暮らし高齢者などへの電話・出前相談で社会福祉協議会等行政をサポート
- 3 介護、成年後見、葬儀、相続、リバースモーゲージなどに関する行政法律情報の提供
研究会の開催、セミナーの開催、研究成果の公表、提言
- 4 多摩地域行政機関で開催されるイベント出展等での啓発活動
- 5 その他関連する事業

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- 1 核家族化による高齢者の孤立を防ぐ一助
- 2 定年後の中高年齢生き甲斐施策にたいし賛助・協力会員の確保参画で地域貢献の一助
- 3 振込み、俺おれ詐欺等悪徳商法等知的犯罪を防ぐ一助
- 4 高齢者支援で行政に対する一助

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

全国的に少子高齢化が進み、特に一人暮らし高齢者支援は、全国共通の行政課題でもある。多摩「府中市」地域では、身近な自治会活動、また、当プロジェクト活動のなかで、行政では対応できない現実と直面する。戦後の日本は、子供の成長は、親元からの自立をすすめ、子は自立とともに親から離れて、遠方で仕事場に所帯をもち親から遠ざかる。高齢化した親は、子からの支援を期待しながらも拒絶し元気で生きる。しかし、一方で認知症や介護への危機感を抱きながら、さまざまな制度のセミナーに参加し、元気を維持しようとする姿に、一種の感動を覚える。親子には、生涯切れぬ扶養義務関係があるが、その関係を失い、死後の相続争いとなる親族問題は、日本人を見つめなおす、今後の重要課題である。誰にでもあり得る一人暮らしの終焉は、子供がいなければ空家の増加、廃墟の街並みは、暗渠の日本か！家族関係見直しの一つに親元の生活居住不動産を担保に資金を得る「リバースモーゲージ」という新しい制度がある。新しい制度を学習し、親子話し合いのきっかけになればと思うのである。政府は、年金減額や支給時期の延長、消費税や相続税の増税による国民負担を強く求める。リバースモーゲージは、自宅を活用した生活資金を得る方法であるが、多くの市民にこの制度を知っていただきたく、今後とも、当プロジェクトを継続的に促進していきたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし